

pHコントロール剤・抗菌剤
パラファイン PHC-50
(PARAFINE PHC-50)

パラファイン PHC-50 は繊維表面のpHをコントロールでき、素肌に最適な弱酸性のpH領域に保つことができます。さらに、耐久性のある抗菌防臭性能を持ち併せています。

< 性状 >

外 観 : 淡褐色液体
主 成 分 : 天然物エキス
P H : 5.0±1.0
粘 度 : 100(mPa・s)以下
イオン性 : カチオン

< 使用量 及び 加工方法 >

パディング処理にて3~5%soln ご使用下さい。
予備乾燥の後、熱処理を行うことを推奨致します。




特徴

1. pH 緩衝作用により、繊維表面を肌と同じ弱酸性に保ちます。
2. 耐久性のある抗菌防臭性能があります。
3. 吸水性が良好です。

pH 調整効果例

判定結果写真(滴下 20 秒後)

アルカリ性の試験液を垂らすと、弱酸性を示す色(黄色)になることがわかります。

原布	加工布 (初期)	加工布 (洗濯 30 回)
		

試験条件

試験布:綿ブロード
パディング処理:5%soln
アルカリ性試験液:pH9







色調

青:アルカリ性
緑:中性
黄:弱酸性

pH 調整効果例

アルカリ性や酸性の試験液を垂らすと、弱酸性を示す色になることがわかります。

判定結果(滴下 20 秒後)

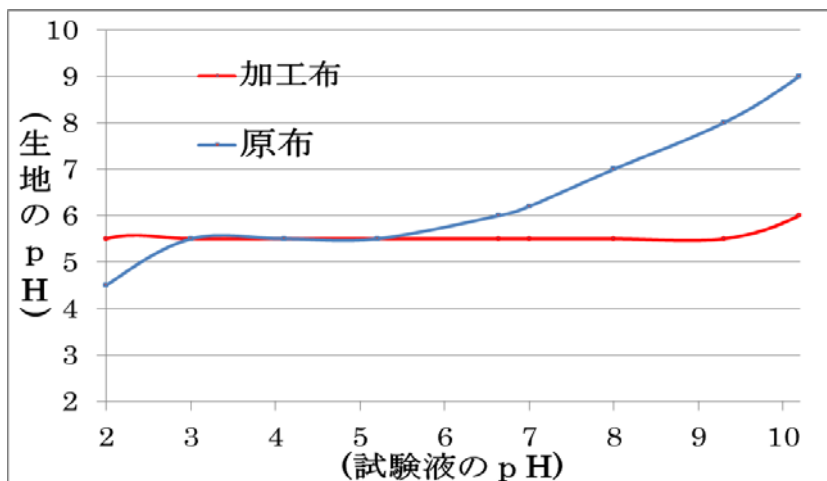
試験液	合格基準	加工布(5%soln)	
		初期	HL-30
中性液	緑色(6.5) ↓ 黄色(6以下)		
水+BTB			
アルカリ性液	青色(9.0) ↓ 黄色(6以下)		
アンモニア水+BTB			
酸性液	紫色(3.0) ↓ 赤色(5以上)		
希硫酸+コンゴレッド			

試験方法

- ・中性、アルカリ性、酸性に調整した試験液をそれぞれ加工布に一滴落とし、20 秒後の生地の色を判定する。
- ・合格基準を満たせば、生地表面の pH が弱酸性領域の 5~6 であるとみなせる。

pH 緩衝性の検証

pH を 2~10 に調整した試験液を生地に滴下し、色の変化から生地の pH を検証した。加工布がアルカリ性側、酸性側共に弱酸性に調整されていることがわかる。



抗菌性評価例

静菌活性値:2.2 以上で合格

試料	静菌活性値	評価
5%soln 初期	4.0 以上	合格
5%soln HL30	4.0 以上	合格

試験方法

繊維評価技術協議会に準拠

試験菌 : 黄色ブドウ球菌

合格値 : 静菌活性値 2.2以上で抗菌性合格

洗濯条件 : JIS L-0217 103法(JAFET 標準洗剤使用)

各種加工条件

pH 調整試験、抗菌試験の加工条件

生地 : 綿ブロード(絞り率:84%)

加工条件 : パディング処理(5%)→乾燥 110℃×2分→熱処理 160℃×2分

洗濯条件 : JIS L-0217 103 法(JAFET 洗剤)

乾燥条件 : 吊り干し乾燥

使用上の注意

1. カチオン性ですので、アニオン性物質との併用は避けて下さい。
2. 主成分にアミノ基を有する天然カチオン性高分子が含まれますので、蛍光染料や染料の種類によっては白度低下や染色堅牢度に悪影響を及ぼすことがあります。予備試験による確認の上で御使用ください。
3. 併用する薬剤によっては抗菌効果が阻害される場合がありますので、前もって御確認ください。

ここに記載された資料内容は、細心の注意を払って行った社内試験に基づくものですが、御使用に際しましては十分に御試験の上、御使用下さい。
取扱いに関しましてはSDSを御参照下さい。